

新庁舎建設基本構想策定に向けた区民意見聴取の実施結果について

新庁舎建設基本構想の策定の参考とするため、下記のとおり、アンケート調査、ワークショップ及びこどもグループインタビューを実施した。

1 アンケート調査

- ・ 期間：令和 6 年 6 月 21 日（金）から 7 月 12 日（金）
- ・ 対象：区内在住の満 18 歳以上の男女 3,000 人（無作為抽出）
- ・ 方法：調査票を郵送配布。回答は、オンラインまたは郵送回収
- ・ 回収数：1,147 人（回収率 38.2%）

〈調査結果（抜粋）〉

世代別回答率（%）※無回答除く						
29 歳以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
8.3	14.5	19.8	21.0	13.6	14.0	8.5
庁舎及び防災センターの利用状況						
・ 直近 3 年間の利用は、「利用していない 34.2%」、次いで「年に 1 回程度 29.6%」、「年に数回程度 26.5%」となっている。 ・ 利用目的は、「申請・手続き 85.7%」と最も高い。 ・ 具体的な用件は、「住民票・戸籍・印鑑証明・マイナンバーに関すること 77.6%」、次いで「健康保険や国民年金に関すること 24.2%」となっている。						
施設や設備に対する印象						
窓口カウンターの数や広さ、相談スペースの広さは比較的満足度が高い。一方で、複数の窓口へ行く場合の行きやすさ、目的の窓口へ行くわかりやすさ、エレベーターの利用のしやすさ、駐輪場・駐車場の数や停めやすさなどが特に不満度が高い。						
今後の行政サービス						
区役所での手続きや相談に関して窓口・オンラインの利用意向については、「窓口とオンラインの両方でサービスを受けたい 48.6%」が最も高く、次いで、「オンライン 24.0%」、「窓口 17.1%」となっている。						
新庁舎について						
・ 「行かない・書かない・待たない」庁舎であること、機能性に優れコンパクトであること、防災性にすぐれていることが重視されている。 ・ 行政サービス以外の望ましい機能の回答の上位は、飲食施設、自由に過ごせるフリースペース、イベントスペース、図書機能となっている。						

2 ワークショップ

- ・ 開催日、場所：①令和6年8月1日（木）江東区文化センター（11名）
：②令和6年8月5日（月）亀戸文化センター（12名）
：③令和6年8月7日（水）豊洲文化センター（12名）
- ・ 対象：区内在住の中学生以上
- ・ 内容：下記の2つのテーマに関するイメージやアイデアの意見を聴取

1 「江東区らしさ」とは		
主なキーワード	暮らしやすい・子育てがしやすいまち	木材とかかわりの深いまち
	自然が身近なまち（水・緑）	人情あふれるまち
	公園が多い、空が広いまち	臨海部と下町で特徴の異なるまち
	歴史・文化が深いまち	変化し続けているまち
2 どんな庁舎をつくりたいか		
主なキーワード	人と人のつながりをつくる	相談・手続きがしやすい
	防災性にすぐれた庁舎	デジタル化の推進
	環境やバリアフリーに配慮する	行きたくなる、居場所となる
	多様な機能との複合化	職員が働きやすい

3 こどもグループインタビュー

- ・ 開催日、場所：令和6年7月30日（火）区役所及び防災センター（12名）
- ・ 対象：区内在住の小学5年生から中学生
- ・ 内容：区長室、議場や災害対策本部室など庁舎内外を見学後、現庁舎の感想のほか、新庁舎がどんな場所なら良いかについて、意見を聴取

どんな庁舎なら良いか		
主なキーワード	遊ぶ場所・スポーツができる場所	話しながら勉強できる場所
	乳児や幼児が時間を過ごせる場所	気軽に来られる楽しい場所
	特別感のある場所	避難できる広い場所
	多言語対応・障害者対応の充実	明るい区役所

4 今後のスケジュール（予定）

令和6年12月 基本構想（素案）
パブリックコメント

令和7年 2月 基本構想（案）
3月 基本構想 策定